

特集 新成人に聞く!

15年ぶり!雪の成人式



今の気持ちを
漢字一文字で
表して!

長年の夢を叶えたいな



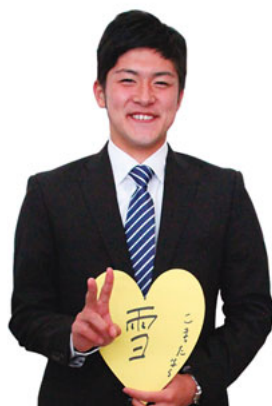
加治 英美里さん

人への思いやりを持ちます!



栗飯原 貴海さん

大雪の今日を、一生忘れないです



塚田 健太さん

成長したことを実感します



落合 桃子さん

波にもまれても、しっかりと生きる



瀬下 亜蘭さん

育ててくれた両親に、感謝!



杉本 綾子さん

就職活動で良い仕事を見つけない



塚越 亮麻さん

仕事での疲れが...でも頑張るぞ!



廣田 詩歩さん

1月14日(月・祝)、第65回目となる葉山町成人式が開催されました。今年の新成人は264人と、昨年よりも23人多く、にぎやかな成人式となりました。

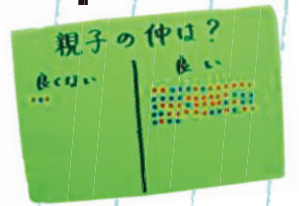
当日は、大雪警報も出たような天候。成人の日に、町で雪が降ったのは15年ぶりのことです。振袖姿の女性には雪の中、慣れない服装で歩くのも大変そう。

しかし、町長が式辞でも述べたように、「一生忘れることのできる思い出の日」になったのではないのでしょうか。

この特集では、町の新成人が今、素直に感じている「自分のこと」や「親のこと」、「友達のこと」、「町のこと」などを語っていただきました。



親子の仲 アンケート



お父さんみたいに
「良い人生」を
歩んでほしいな

熱田充克さん
未帆さん親子

会場の外には送り迎えのお父さんお母さんでいっぱい。わが子はもちろん、子どもの友達と一緒に写真を撮ったり、恩師の先生と懐かしい話をしたり、そんな親との仲について、「良い? 良くない?」、新成人に聞きました!

結果は右の通り。59人中「仲が良い」と答えたのは56人、「良くない」と答えたのはたったの3人でした。詳しく聞いてみると、中高生で反抗期もあったけれど、今は自分も大人になって仲良くできているという回答が多くありました。



そこで、会場に迎えに来ていたお父さんに「親子関係について」インタビューしました。

❖お父さんの気持ち

変わらないですね、成人式っていうのはいつも。私は葉山中学校の体育館（現在の一色小学校の場所）で式典がありました。町が場を設けてくれたの同窓会だったなと思います。でも、ハタチになって信念が固まりつつある時期に再会できることは、とても良いことですよね。

娘との仲ですか……ぶつかるようなこともないですが、妻からは「二人ともいい加減なところがそっくりだ」と言われますからね。だから仲良しなのかな。でも一言、ハタチになったのだから、部屋くらい片付けなさい。(笑) 本音では、やっぱり良い人生を歩んでほしいですね。がんばれ!

❖娘さんから一言

ありきたりかもしれませんが、育ててくれてありがとう。お父さんみたいな良い人生を歩みます!



「お前はいつも……」といったお父さんの小言も、今日は素直に受け入れます

成人式って
どうやって
作られる？

舞台裏



私たちが成人式実行委員です



司会は緊張するな～



打ち合わせ中は真剣！



しっかり練習を重ねて…

● 実行委員の活動

成人式では司会を務めたり、恩師の紹介、祝賀会の進行をしたりと忙しくしていた13人の成人式実行委員。各小中学校から推薦され、新成人代表として色々と頑張ってくれました。もちろん活躍したのは当日だけでなく、前日のリハーサルを含め、何度も打ち合わせや会議を重ねて、自分たちが納得する・みんなが満足できるように成人式を考えます。

リハーサルでは司会進行での難しい言葉の連続に苦戦し、一番がせまる緊張感でうまくいかないこともありました。しかし、「一生に一度しかないものだから、みんなが笑顔で過ごすことのできるよう、頑張ります」との意気込みどおり、本当に当日は笑顔の新成人で溢れる式となりました。

参加者たちからありがとうのキモチ！！



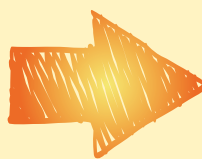
黒澤 奏さん

実行委員のみんな、すっかりかわいく・かっこよくなっていて驚き！今日はありがとう。



高橋 剛さん

まさか君が実行委員をやるとは、と思いましたが(笑)おかげで楽しかったです。



藤崎 奈歩さん

こちらこそ、ありがとう！みんな来てくれて、心地よく過ごせたのなら良かったです。

第64回
町長と語る

おめでとう20歳。夢に向かって、大きく羽ばたけ！

新成人たちは今、何を思い、人生というキャンバスにどんな夢を描くのか。成人式より少し前の昨年12月末、成人式実行委員もつとめた相澤怜さん、石坂幸治さん、加藤麻衣さんの三人にお集まりいただきました。

みなさん20歳を迎えて、またこれから迎えるにあたって、「喜び」「自信」「希望」、また「寂しさ」や「責任感」、どんなことを感じているのでしょうか。20歳の素直な気持ちを話してくれました。



町長 20歳になった、今の率直な感想を聞かせてください。

石坂 正直、大人になった実感があまりありません。何しろまだ大学生で、親のスネかじりですから(笑)。

相澤 僕も同じです。ただ、先日の衆議院選挙で初めて投票をしたのですが、「日本の将来を決める大事な選挙。しっかり考えなくては」と、大人の責任を自覚しました。

加藤 成人になって私よりも親の方がちょっと変わった気がします。帰宅時間も「夜9時まで」と厳しかったのに、今は門限が少しゆるやかに。大人として認めてくれたのかな、と感謝しています。

石坂 一人前に育ててくれて、両親には本当に感謝でいっぱいだよ。

相澤 これからは親孝行をしないとイケないし、したいと思います。

町長 成人になって、今一番したいことは何ですか。

石坂 中学や高校の友達と一緒に飲みに行きたいですね。

相澤 僕も小学校の仲間や恩師と、成人式のあとにでも飲みたいな。

加藤 私は祖父との約束で、「20歳になったら、おいしいお酒を教えあげよう」と言われていて、私の成人を楽しみにしていたんです。

町長 みんなお酒ですね(笑)。楽しく飲めるよう、ルールも守ってくださいね。ところで、葉山町について、どんな印象を持っていますか。

石坂 僕は葉山が大好きです。小さい頃から海や山で遊び、楽しい思い出がいっぱい。海から望む富士山や夕日の美しさは感動的です。今は東京で一人暮らしですが、水が全然おいしくない。葉山に帰ってくると、空気が水もおいしく、ホッとします。

加藤 私家の前からの景色が大好きで、毎日通る道なのについて携帯カメラで写真を撮ってしまいます。御用邸はあるし、遊びに来た大学の友達に「すごいいい所に住んでるね」と、うらやましがっていました。

相澤 葉山の一番の魅力は、自然環境の素晴らしさ。この貴重な財産を、僕らも含め、町民みんなの力でこれからもずっと守りたいですね。でも駅がないとか交通面では不便かも。

加藤 あと夏は、海岸線を走るバスの中が砂だらけ。深夜に花火遊びをする人もいるのがちょっと悲しい。

町長 海水浴客のマナーですね、町でも対策を考えます。みなさんは、そんな葉山町にこれからもずっと住み続けたいと考えていますか。

相澤 強い愛着はありますが、まだ

若いので、外から葉山を見てみたい気持ちもあります。

加藤 私は葉山が大好きなので、ここから離れたくない。それが正直な気持ちです。

町長 最後に、皆さんのこれからの夢を聞かせてください。

石坂 僕の夢は、一流のコンダクター(指揮者)になること。そのため、音楽の本場であるドイツに留学したいと考えています。

加藤 私は母のような教員になりたい。できることなら、葉山の自宅から通える範囲内で、子どもたちを教えるのが今の夢です。

相澤 僕はずっと野球をやってきたので、高校の教員になって、野球部を指導したい。もちろん、めざすは甲子園。そんな夢を持っています。

町長 みなさんから「町が大好き」との言葉が聞けて、本当に嬉しいです。その気持ちをつまでも忘れず、夢に向かって頑張ってくださいね。



新成人へ
メッセージ

人生の先輩から

大人の仲間入り、おめでとう！
福祉会館で社交ダンス、囲碁を楽しむ皆さんにインタビュー！ 今から50年、60年前にハタチだった「人生の先輩」から新成人へのメッセージをいただきました。

豊かな時代だからこそ

私がハタチのころは、戦後まもなくでしたからとにかく物が無い時代でしたよ。当時の夢は「お腹いっぱい食べられる日が来るように」ってこと。今じゃ考えられないですよ。今のハタチの子は、食べ物がある、それだけじゃなくて何でも便利な世の中になったということを実感してほしいです。昔ダンスが流行ったころなんて、ダンスシューズもなく、運動靴に歯磨き粉を塗って白くして履いていました。そんな時代があったことを忘れないで欲しい。豊かな時代だからこそ、自分の求めるものをしっかりつかまえてほしいです。

(上田さん・80代男性)

どんどん苦勞してほしい

今の若い人にはかわいそうな部分もありますね。平均点を出す社会では、頑張っても下の人っていうのが出てくる。社会のために、なんて気張る必要はないと思いますよ。自己満足でも良い、とにかく幅広い経験をすることで伸ばしたいものを見つければ良い。

(近藤さん・70代男性)



社交ダンスの発表会などについては、広報4月号に掲載予定です。



今月の福祉会館の囲碁・将棋は9ページをご覧ください。

私がハタチのころは、まだ大学生でした。次の夏から就職活動が始まるって時でしたね。今になって思うと、一人では何も出来なかった、すべて周りの協力があったからこそできたこと。でも当時はそんなこと思っていないで、今になってやっと気づいたんですね。新成人の皆さんには、そんなこと気にせず頑張ってもらいたい。「一人では何も出来なから」なんて諦めず、どんどん積極的に経験・苦勞をしてほしいな。

未来のハタチ



木住野 瑠璃ちゃん
(小学校3年生)

きれいな大人になりたい

将来は、美容師とかネイリスト、女の子をきれいにする人になりたいです！ だからハタチは、きつと専門学校生でいると思う。今年成人になったお姉さんたちをテレビで見たけど、私も早く振袖が着てみたい！私だったらこんな振袖に、こんな髪型、こんなネイルを合わせて、と今から11年後の成人式が楽しみです。あと、お母さんはいつも忙しそうだけど、私が大人になって髪の毛とかネイルをきれいにしてあげたい！



中山 琳花ちゃん
(小学校3年生)

勉強して夢を見つけない

私は体を動かすことが好きなので、これからも運動を頑張りたいです。いつも服を自分で選んで、みんなにセンスを褒められるので、将来は洋服屋の店員さんになるのも良いかも！ 1年生の時はお花屋さんになりたかったけど、これから勉強してハタチになるまでには夢を見つけないな。今は友達と、学校や児童館で遊ぶのがすごく楽しいので、ハタチになってもずっと仲良く遊んでいられるようになっていきたいです！

特集記事の
取材を終えて

新成人のみなさん、おめでとうございます。取材にご協力いただきました多くの方々、ありがとうございました。仲の良かった友人、お世話になった恩師たちの顔を見た途端、まるで当時の続きのように話がはずみだす皆さんを見てみると、こちらまで嬉しくなっていました。

今年は15年ぶりに雪の成人式となりました。葉山町では毎年一度か二度、雪の降る日があります。雪が降るたびに、この日のことを思い出すことになるでしょう。二十歳になったからといって、その日から何かが劇的に変わるわけではありません。しかし、この成人の日を期に、「親への感謝」「友達との信頼」、そして「自分自身の成長」を実感してほしいです。そんな新成人の皆さんに二冊の本をご紹介します。両方とも町図書館にもありますので、一度読んでみてはいかがでしょうか。(広報担当 高野)



●青春の日々を
思い返してみたい人には……

『夜のピクニック』 恩田陸

高校生が、ただひたすらに夜の道80*を歩き続ける「歩行祭」。学生時代に友達とこんな話をしたな、こんなこと考えていたな、といつでも青春の頃を思い出すことのできるお話です。



●なんだか将来が不安に
思えてしまう人には……

『心が雨漏りする日には』 中島らも

うつ病・自殺未遂・躁病・アルコール依存症を経験した著者のエッセイ。「くたばれうつ」という言葉も出てくるように、病気に明るく向き合っている文章は、心を晴れやかにしてくれます。